

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日時 令和7年6月17日(火) 9:35～11:25
 場所 五十猛小学校 ランチルーム 裏庭
 対象 6年生児童7名
 指導者 担任
 埋蔵文化財センター職員

1. 題材名 縄文・弥生人の生活を知ろう～古代食づくり体験～

2. 本時の学習

(1)本時のねらい

- ・古代の人々の生活の様子に興味・関心を持つ。
- ・古代食作りの体験を通して、古代人の食生活の様子について知り、古代人の生活への理解を深める。

(2)本時の展開

時間	学習内容	教師の支援・配慮事項	準備物
5分	○今日の学習の流れ ・あいさつ ・講師紹介 ・今日の学習の確認	・ランチルームに遺物等の設置をする 【埋文センター】 ・講師の紹介、学習の内容やねらいを説明する。	パソコン 電子黒板 机
15分	○縄文時代・弥生時代の暮らしについて知ろう (遺跡、土器、勾玉 等)	・縄文時代・弥生時代の暮らしについて、パワーポイントなどの視覚的教材を使って、説明する。 【埋文センター】	筆記用具 遺物 プリント
10分	休憩・裏庭へ移動 ○手洗い後、エプロンを着て移動する。		エプロン マスク
55分	○古代食作りに挑戦しよう ・赤米炊飯・どんぐりクッキー ・2班に分かれる	・古代食の炊飯方法、どんぐりクッキーの作り方について説明する。 【埋文センター】 ・安全面、衛生面に十分配慮し活動中は適宜言葉かけや支援を行う。	炊飯用土器 すり鉢 ボール 材料
15分	○古代食の試食をしよう ・試食 ・片づけ	・学習したことを思い出しながら、縄文・弥生人の生活をイメージしながら食べるように声掛けをする。	
20分	ランチルームに移動 ○まとめ ・感想発表	・学習のまとめをし、各自の感想の発表をするように声掛けをする。	プリント

※準備物 (学校) プロジェクター、作業台(遺物用)、調理器具、たきぎ、マッチ、カメラ
 新聞紙、雑巾、ビニール袋、フライ返し2、取り皿10、箸10
 食材 (うずら卵10個、クルミ350g～400g、はちみつ、長芋)
 (児童) エプロン、マスク、筆記用具
 (埋文センター) かまど、食材、炊飯用土器、遺物、学習の資料、アンケート用紙等

※事前に 前日に赤米を洗い、水につけておく。